



令和6年度鯨伏小学校 学校経営全体計画

教育方針

小学校の目的は、児童自身が一人の人間として幸福に生き、社会の立派な構成員となるために、児童に「生きる力」を身に付けさせることにある。

よって本校は、公教育の使命を担い、国・長崎県・壱岐市の教育方針と努力目標に則り、児童や地域の実態を踏まえ、社会の変化に対応できる、人間性豊かで心身ともに健康でたくましい児童の育成を目指す。

基本理念

児童・教職員・保護者・地域の方が、ともに安定した幸福を感じる教育活動の充実

学校教育目標

豊かな心とたくましい体を持ち、生き生きと学び合う子どもの育成

めざす児童像

育む4つの力

やさしく
かしこく
たくましく

- 自分のよさに気付く力
- 相手を大切にする力
- 自ら考え、表現する力
- 体を鍛え、粘り強く取り組む力

めざす教職員像

- 教育の質を高めるために努力を続ける教職員
- 時代の変化に対応する柔軟性をもち続ける教職員
- 個性と能力を発揮できるように支援する教職員

めざす学校像

- 共に学び合い、共に成長できる学校
- 時代の変化に対応した学びを提供する学校
- 地域社会と密接に連携し、地域とともにある学校

☆共通理解事項

「子ども達を育てる」

- ・キャリア教育の視点を持ち、全ての教育活動を通して、4つの基礎的・汎用的能力を育む。

「授業改善」

- ・第五版を拠り所としながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善を続ける。

「鯨っ子育成協議会」

- ・地域・家庭との連携・協働を積極的に進める。情報の発信と積極的なコミュニケーション。